

猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー 日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」が 認定継続となりました



令和4年7月29日
郡山市文化スポーツ部
国際政策課
課長 石井 章浩
TEL：924-3711

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公約、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

郡山市・猪苗代町の日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」について、平成28年度の認定から6年が経過したことから、文化庁による認定継続の審査が行われた結果、日本遺産認定が継続されることとなりました。

1 郡山市・猪苗代町の日本遺産概要

(1) ストーリーのタイトル

未来を拓いた「一本の水路」－大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代－
＜ストーリー内容＞

<https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/45/4258.html>

(2) 申請者

郡山市（代表自治体）・猪苗代町



2 日本遺産の認定継続制度について

令和3年度から導入された制度で、認定後6年を経た地域が対象となります。認定から現在までの実績報告に基づく総括評価と、今後3年間の日本遺産を通じた地域活性化計画を基に、文化庁の有識者委員会が認定継続を審査するものです。

3 審査結果等について

(1) 審査結果 「認定継続」

(2) 有識者委員会の総合評価

- ・全体として概ね目標を達成しており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。
- ・組織体制を新たにすることで、取組内容も見直そうとしている点が評価できる。
- ・協議会の運営にあたって、マネジメントの手法については、更なる検討・具体化が望ましい。

